

令和8年9月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	12	議席 番号	8	氏名	山 藤 陽 子 議員	1 / 1
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
1	地域の防災力の向上について（女性の視点を取り入れた「つながる」自助）			全国で、例年にないほど災害が多発している。想定以上の自然災害を目の当たりにし、「防災の備えをしなければいけない」と考える意識が高まってきている。自分の命は自分で守る自助の備えを「やらないといけない」から「やりたい、やってみよう」と意識を変える取組が必要と考える。そこで以下伺う。 (1) 市民の自助力を高めるための取組、周知方法について及びさらに自助力を高める新しい取組を考えているか伺う。 (2) 防災展等で我が家の備蓄状況のシールアンケートを行っているが、市民の意識は変わってきているのか伺う。 (3) 災害時は男女とも視点が不可欠である。自治会の防災委員の女性の参画は増えているのか。そして、役職についている人はいるのか。また、防災訓練の女性参加者は増えているのか伺う。 (4) 自治会で行う防災訓練の内容で「女性の視点を取り入れた」講座を行っているか。また、女性が講師をしている自治会はあるのか伺う。 (5) 市民の自助力を高めるために市内の女性（中学生以上）の「つながりの輪」を広げるきっかけ作りとなる女性の視点を取り入れた防災講座を提案する。当局の考えを伺う。 (6) 各課の情報を共有し、子育て、福祉、健康、教育等、生活に密着したフェーズフリーな防災を提案していくために、市職員による「つながる防災プロジェクトチーム」を設立してはいかがか。 (7) 「防災の備えをやってみよう」のきっかけ作りとして、交流センターに防災展示コーナーを設置し、また、今後人口減少により使用されなくなる公共施設を防災センター兼防災学習センターに活用することで、より一層、市民の安心・安全な生活、災害時の復旧・復興及び誰も取り残さない防災ができると考えるが、いかがか。		市長 副市長 教育長 関係部長